

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 005	提案機関名 セレサ川崎農業協同組合営農経済本部営農部営農指導課
要望問題名 露地トマト栽培に対応したTYLCSV抵抗性(耐病性)品種の育成	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 <p>川崎市内ではトマトの黄化葉巻病の発生が多く、地域によっては、発生株率が100%近い露地トマト圃場も多く見られる。トマト黄化葉巻病抵抗性(耐病性)品種は、種苗メーカーにおいては抑制栽培から促成栽培に対応した施設栽培用品種の育成が進んでおり導入もされているが、トンネルを含めた露地栽培における品種育成は進んでいないのが現状である、</p> <p>都市農業における新鮮なトマトは直売においても人気商品であるが、黄化葉巻病発生のために作付を断念する生産者もあり、生産意欲の低下、栽培面積の減少につながっている。都市農業の振興のため早急な品種育成を是非お願いしたい。</p>	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 当所においてトマト黄化葉巻病抵抗性(耐病性)の遺伝資源を保有していないこと、特に抵抗性品種の育成には年数を要することから、早急な品種育成は困難と考えられるため、実施不可とさせていただきます。露地栽培のトマト黄化葉巻病対策については、耐病性品種を導入するだけでなく、普及指導員による指導を受けるなどして、育苗期から栽培終了に至るまでの期間のコナジラミ類の防除を徹底する等の対応をお願いします。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			